



## 平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 味の素株式会社  
 コード番号 2802 URL <http://www.ajinomoto.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 西井 孝明  
 問合せ先責任者 (役職名) 財務部長 (氏名) 森田 浩一 TEL 03-5250-8161  
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月5日  
 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績（平成27年4月1日～平成27年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	903,248	23.5	80,166	49.7	84,046	40.5	80,870	103.0
27年3月期第3四半期	731,443	2.6	53,559	6.1	59,830	5.9	39,843	8.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 63,366百万円 (△39.4%) 27年3月期第3四半期 104,569百万円 (49.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	137.03	-
27年3月期第3四半期	67.30	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	1,291,260	759,771	53.2	1,180.86
27年3月期	1,255,090	743,489	53.3	1,131.41

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 686,384百万円 27年3月期 669,576百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	-	10.00	-	14.00	24.00
28年3月期	-	13.00	-	-	-
28年3月期(予想)	-	-	-	13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想（平成27年4月1日～平成28年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,263,000	25.5	86,000	15.4	89,000	7.5	67,500	45.2	114.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

(注) 営業利益は、86,000百万円の通期業績予想に対し、第3四半期累計期間で80,166百万円(対予想進捗93.2%)と順調に推移し予想値の達成がほぼ確実に見込めるなか、2014-2016年度中期経営計画の最終年度目標である91,000百万円を今年度1年前倒しで達成し、さらにそれを上回る事も視野に入ってきました。

一方で、第4四半期において、医薬事業等の課題事業の構造強化に伴う臨時的費用や損失の発生が見込まれ、現在これらの業績への影響額を集計中であることから、現時点では業績予想の修正は行いません。

なお、今後各業績予想値の精査を行い、結果が判明し次第お知らせする予定です。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 1社 （社名）味の素ゼネラルフーズ株式会社

除外 2社 （社名）ウィンザー・クオリティ・ホールディングス社、欧州味の素甘味料社

（注）詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

（注）詳細は、添付資料P. 5「2. サマリー情報（注記事項）」に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

28年3月期3Q	594,470,654株	27年3月期	594,470,654株
28年3月期3Q	13,209,962株	27年3月期	2,663,656株
28年3月期3Q	590,171,632株	27年3月期3Q	592,035,226株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、今後様々な要因によって、大きく異なる結果となる可能性があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は平成28年1月29日（金）に当社ウェブサイトに掲載いたします。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間より、「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日）等を適用し、「四半期純利益」を「親会社株主に帰属する四半期純利益」としております。

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、米国では景気が回復し、欧州でも景気の緩やかな回復が続きましたが、中国等の新興国で景気が緩やかに減速していることもあり、全体としては緩やかな回復となりました。

わが国経済は、輸出や生産に弱い動きがみられるものの、雇用環境の改善がすすみ、個人消費の底堅い動きもあり、景気は緩やかな回復が続いています。

このような環境下にあります、味の素グループは、2014-2016中期経営計画において、「確かなグローバル・スペシャリティ・カンパニー」を目指し、「スペシャリティ」の追求による「成長ドライバーの展開」、「更なる事業構造強化」、その土台となる「経営基盤の進化」に取り組んでまいりました。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、調味料・加工食品（海外）の現地通貨ベースでの売上げの伸長、平成26年11月5日に全持分を取得した米国の冷凍食品の製造・販売会社であるウィンザー・クオリティ・ホールディングス社（現、味の素ウィンザー社。以下、ウィンザー社）及び平成27年4月23日に株式を取得した味の素ゼネラルフーズ(株)（以下、AGF）の連結子会社化等により、前年同期を1,718億円上回る9,032億円（前年同期比123.5%）となりました。同営業利益は、調味料・加工食品（海外）が大幅な増益となったことに加え、AGFの連結子会社化等により、前年同期を266億円上回る801億円（前年同期比149.7%）、同経常利益は前年同期を242億円上回る840億円（前年同期比140.5%）となりました。

親会社株主に帰属する四半期純利益は、事業構造強化の一環としてフランスにおける甘味料生産・販売子会社の株式売却に係る関係会社整理損65億円を計上したものの、特別利益として、ブラジルにおける即席麺合弁会社である日清味の素アリメントス社の持分売却に係る関係会社株式売却益248億円や、AGF株式について平成27年4月の追加取得以前から保有する持分を当該追加取得時の時価で再評価したことによる評価差益（段階取得に係る差益）180億円を計上したこともあり、前年同期を410億円上回る808億円（前年同期比203.0%）となりました。

セグメント別の概況

セグメント別の業績は、次のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

(単位：億円)

	売上高	前年同期増減	前年同期比	営業利益	前年同期増減	前年同期比
日本食品	3,010	816	137.2%	275	81	142.4%
海外食品	3,546	845	131.3%	352	112	147.1%
ライフサポート	1,106	21	102.0%	108	26	132.5%
ヘルスケア	954	105	112.5%	58	39	305.9%
その他	413	△70	85.4%	7	5	407.7%
合計	9,032	1,718	123.5%	801	266	149.7%

(注) 国内外の食品加工業向け「アクティブ®」類及び天然系調味料は、日本食品セグメントに区分されております。また、国内外の食品加工業向け「味の素®」、核酸及び甘味料は、海外食品セグメントに区分されております。

## (日本食品セグメント)

日本食品セグメントの売上高は、AGFの連結子会社化に加え、調味料・加工食品(日本)の売上げが伸長したことにより、前年同期を816億円上回る3,010億円(前年同期比137.2%)となりました。営業利益は、AGFの連結子会社化に加え、調味料・加工食品(日本)の増収等により、前年同期を81億円上回る275億円(前年同期比142.4%)となりました。

## &lt;調味料・加工食品(日本)&gt;

家庭用は、うま味調味料「味の素®」、中華合わせ調味料「Cook Do®(クックドゥ)」等の売上げが前年同期を下回ったものの、テレビ広告と連動した販促活動を展開した「クノール®カップスープ」やトッピング入りサラダ用粉ドレッシング「Toss Sala®(トスサラ)」が前年同期を上回ったため、全体としては増収となりました。

業務用は、外食用製品の売上げは、米・肉等素材の食感を向上させたり、コクを引き出したりする機能型食品の伸長等により前年同期を上回り、食品用酵素製剤「アクティバ®」や天然系調味料も、国内外の販売が好調に推移したことにより前年同期を上回ったため、全体としては増収となりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

## &lt;冷凍食品(日本)&gt;

家庭用は、「ギョーザ」や「やわらか若鶏から揚げ」が増収となり、新製品「ザ・チャーハン」が好調に推移しましたが、「エビ寄せフライ」等の弁当用製品が減収となり、前年同期並みとなりました。

業務用は、餃子類や鶏肉類が前年同期を上回り、増収となりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

## &lt;コーヒー類&gt;

第1四半期連結会計期間より、AGFを連結子会社化したことにより、同社のコーヒー類の売上げが日本食品セグメントに含まれております。

家庭用は、スティックタイプやレギュラータイプコーヒーの売上げが伸長し、インスタントコーヒーも好調に推移しました。

業務用は、大手需要家への販売が大幅に増加しました。

## (海外食品セグメント)

海外食品セグメントの売上高は、ウィンザー社の連結子会社化に加え、調味料・加工食品(海外)、加工用うま味調味料・甘味料の売上げが伸長したことにより、前年同期を845億円上回る3,546億円(前年同期比131.3%)となりました。営業利益は、調味料・加工食品(海外)や加工用うま味調味料・甘味料の増収等により、前年同期を112億円上回る352億円(前年同期比147.1%)となりました。

## &lt;調味料・加工食品(海外)&gt;

アジアでは、ベトナム、フィリピン、タイ、及びインドネシアにおけるうま味調味料「味の素®」、タイにおける風味調味料「RosDee®(ロッディー)」や即席麺が増収になったことに加え、インドネシアにおける風味調味料「Masako®(マサコ)」の売上げが前年同期を大幅に上回ったことや、為替の影響もあり、増収となりました。

米州では、ブラジルにおける風味調味料「Sazón®(サゾン)」等の現地通貨ベースでの売上げが前年同期を上回ったものの、為替の影響により、減収となりました。

欧州・アフリカでは、アフリカにおける「味の素®」の現地通貨ベースでの売上げが前年同期を上回ったこと等により、増収となりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

## &lt;冷凍食品(海外)&gt;

ウィンザー社の連結子会社化に加え、北米における米飯や焼きそば等の麺類が大幅に伸長し、全体として大幅な増収となりました。

## &lt;加工用うま味調味料・甘味料&gt;

食品加工業向け「味の素®」は、国内外の販売価格が前年同期を上回ったことに加え、販売数量も国内外ともに増加したことから、増収となりました。

核酸は、国内の販売数量は前年同期並みとなったものの、海外の販売数量が前年同期を大幅に下回ったことから、減収となりました。

甘味料は、南米における粉末ジュース「Refresco MID®(リフレスコ ミッド)」が為替の影響により前年同期を大幅に下回りましたが、加工用アスパルテームの販売数量が大幅に伸長したことにより、前年同期並みとなりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

(ライフサポートセグメント)

ライフサポートセグメントの売上高は、動物栄養及び化成品の売上げが伸長したことから、前年同期を21億円上回る1,106億円(前年同期比102.0%)となりました。営業利益は、動物栄養が前年同期を大幅に上回ったことに加え、化成品も増益となったことから、前年同期を26億円上回る108億円(前年同期比132.5%)となりました。

<動物栄養>

リジンは、販売数量が前年同期を下回ったものの、為替の影響により、販売価格が前年同期を上回ったため、前年同期並みの実績となりました。スレオニンは、販売数量は前年同期並みでしたが、為替の影響もあり、販売価格が前年同期を上回ったため、増収となり、トリプトファンは、販売数量が前年同期を上回ったものの、販売価格が大幅に前年同期を下回ったため、大幅な減収となりました。また、パリン等のスペシャルティ製品は増収となりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

<化成品>

化粧品素材は、国内外ともに大幅な増収となったものの、コンピュータ用の層間絶縁フィルムの売上げは、前年同期を下回りました。

以上の結果、全体として増収となりました。

(ヘルスケアセグメント)

ヘルスケアセグメントの売上高は、製薬カスタムサービス、医薬用・食品用アミノ酸、医薬の売上げが伸長したことにより、前年同期を105億円上回る954億円(前年同期比112.5%)となりました。営業利益は、製薬カスタムサービス、医薬、医薬用・食品用アミノ酸が増益となり、前年同期を39億円上回る58億円(前年同期比305.9%)となりました。

<アミノ酸>

医薬用・食品用アミノ酸は、国内は減収となりましたが、海外の売上げが為替の影響もあり大幅に伸長したことにより、全体として増収となりました。製薬カスタムサービスは、欧州、北米、日本の売上が伸長し、大幅な増収となりました。

以上の結果、全体として大幅に増収となりました。

<医薬>

自社販売品は、後発品や競合品等の影響により、分岐鎖アミノ酸製剤「リーバクト®」が減収となったものの、経口腸管洗浄剤「モビプレップ®」の売上げが前年同期を大きく上回り、増収となりました。

提携販売品は、後発品や競合品の影響等により、カルシウム拮抗降圧剤「アテレック®」の売上げが前年同期を大幅に下回ったものの、骨粗鬆症治療剤「アクトネル®」等のリセドロネート類の売上げが前年同期を大きく上回り、増収となりました。

以上の結果、全体として増収となりました。

(その他)

その他の事業の売上高は、前年同期を70億円下回る413億円(前年同期比85.4%)となり、営業利益は前年同期を5億円上回る7億円(前年同期比407.7%)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前期末の1兆2,550億円に対して361億円増加し、1兆2,912億円となりました。これは主に、在外子会社の貸借対照表の円貨への換算額が減少した一方、当社が株式を追加取得したAGFを第1四半期連結会計期間より連結し資産が増加したことによるものです。

負債残高は、前期末の5,116億円に対して198億円増加し、5,314億円となりました。なお、有利子負債残高は、前期末に対して231億円増加し、2,347億円となりました。

純資産は、自己株式の取得や為替換算調整勘定が減少した一方、利益剰余金が増加したため、前期末に対して162億円増加しました。純資産から非支配株主持分を引いた自己資本は、6,863億円となり、自己資本比率は53.2%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

「決算短信(サマリー情報) 3. 平成28年3月期の連結業績予想」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第3四半期連結累計期間における、重要な子会社の異動は以下のとおりです。

## (日本食品セグメント)

当社は平成27年4月23日付で、米国モンデリーズ・インターナショナル社がその関係会社であるクラフト・フーズ・ホールディングス・シンガポール社を通じて保有する味の素ゼネラルフーズ(株)(以下、AGF)の株式の全部を取得し、同社に対する当社の議決権比率は、間接所有の議決権を含め100%となっております。また、これに伴い、同社を当社の連結子会社としております。またAGFは、当社グループの特定子会社であります。

## (海外食品セグメント)

平成27年4月1日付で、ウィンザー・クオリティ・ホールディングス社は、当社の連結子会社である味の素ウィンザー社に吸収合併され消滅したため、当社の特定子会社ではなくなりました。

当社は、平成27年10月15日付で当社の100%子会社であるフランスの欧州味の素甘味料社の発行済全株式をオランダのハイエットホールディング社に譲渡したため、同社は当社の特定子会社ではなくなりました。なお、当社は株式譲渡契約の契約内容等に基づき、同社への実質的な支配を喪失したものと判断し、第2四半期連結会計期間末において、同社を連結の範囲から除外しております。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

## 税金費用の計算

当社及び連結子会社は、税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる会社については、重要な加減算項目を加味し、法定実効税率を使用して計算しております。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。 )及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更、及び少数株主持分から非支配株主持分への表示方法の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益は141百万円、経常利益及び税金等調整前四半期純利益は131百万円増加しております。また、当第3四半期連結会計期間末の資本剰余金が402百万円減少しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	168,294	175,792
受取手形及び売掛金	202,980	209,425
有価証券	608	-
商品及び製品	117,297	126,332
仕掛品	8,871	9,369
原材料及び貯蔵品	57,493	57,503
繰延税金資産	8,706	11,646
その他	44,959	36,886
貸倒引当金	△1,291	△1,225
流動資産合計	607,919	625,730
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	377,948	379,019
減価償却累計額及び減損損失累計額	△229,556	△230,180
建物及び構築物（純額）	148,391	148,839
機械装置及び運搬具	609,015	625,553
減価償却累計額及び減損損失累計額	△456,824	△468,890
機械装置及び運搬具（純額）	152,191	156,663
土地	47,583	54,454
建設仮勘定	19,819	17,936
その他	76,677	77,236
減価償却累計額及び減損損失累計額	△61,395	△61,782
その他（純額）	15,282	15,453
有形固定資産合計	383,269	393,347
<b>無形固定資産</b>		
のれん	71,396	100,188
その他	49,259	45,799
無形固定資産合計	120,656	145,988
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	125,440	107,380
長期貸付金	2,820	2,086
繰延税金資産	3,986	3,567
退職給付に係る資産	698	2,335
その他	10,784	11,450
貸倒引当金	△299	△330
投資損失引当金	△186	△295
投資その他の資産合計	143,244	126,194
固定資産合計	647,170	665,529
資産合計	1,255,090	1,291,260

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	114,488	99,041
短期借入金	87,191	16,316
コマーシャル・ペーパー	15,000	15,000
1年内償還予定の社債	15,000	-
1年内返済予定の長期借入金	18,677	26,193
未払法人税等	7,725	19,392
賞与引当金	7,601	6,311
役員賞与引当金	420	242
株主優待引当金	200	52
その他	92,288	98,250
流動負債合計	358,594	280,801
固定負債		
社債	19,994	19,995
長期借入金	54,152	155,430
繰延税金負債	13,028	13,882
役員退職慰労引当金	427	429
債務保証損失引当金	564	669
環境対策引当金	648	1,557
退職給付に係る負債	43,631	37,518
資産除去債務	509	591
その他	20,048	20,612
固定負債合計	153,006	250,686
負債合計	511,600	531,488
純資産の部		
株主資本		
資本金	79,863	79,863
資本剰余金	53,725	53,323
利益剰余金	536,170	600,101
自己株式	△4,070	△33,612
株主資本合計	665,689	699,676
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	22,783	25,888
繰延ヘッジ損益	223	△384
為替換算調整勘定	△4,655	△26,309
退職給付に係る調整累計額	△14,465	△12,484
その他の包括利益累計額合計	3,886	△13,291
非支配株主持分	73,913	73,386
純資産合計	743,489	759,771
負債純資産合計	1,255,090	1,291,260

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	731,443	903,248
売上原価	479,993	582,268
売上総利益	251,449	320,979
販売費及び一般管理費	197,889	240,812
営業利益	53,559	80,166
営業外収益		
受取利息	2,090	2,105
受取配当金	1,096	1,205
持分法による投資利益	4,020	1,504
その他	2,497	3,140
営業外収益合計	9,705	7,955
営業外費用		
支払利息	1,601	1,668
その他	1,833	2,406
営業外費用合計	3,434	4,074
経常利益	59,830	84,046
特別利益		
関係会社株式売却益	-	24,872
段階取得に係る差益	-	18,027
償却債権取立益	577	-
その他	1,678	1,043
特別利益合計	2,255	43,943
特別損失		
固定資産除却損	850	1,037
関係会社整理損	-	6,600
その他	988	3,123
特別損失合計	1,838	10,761
税金等調整前四半期純利益	60,247	117,228
法人税等	14,029	28,049
四半期純利益	46,218	89,179
非支配株主に帰属する四半期純利益	6,374	8,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	39,843	80,870

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)
四半期純利益	46,218	89,179
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,028	3,106
繰延ヘッジ損益	177	△355
為替換算調整勘定	48,884	△33,728
退職給付に係る調整額	2,751	2,132
持分法適用会社に対する持分相当額	1,508	3,033
その他の包括利益合計	58,350	△25,812
四半期包括利益	104,569	63,366
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	90,485	61,090
非支配株主に係る四半期包括利益	14,084	2,276

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成27年11月5日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項について決議しました。これを受け、信託方式による市場買付の方法により平成27年11月6日から平成27年12月31日までに普通株式10,503,000株、29,423百万円の取得を行いました。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本食品	海外食品	ライフサポ ート	ヘルスケア			
売上高							
外部顧客に対する売上高	219,439	270,169	108,540	84,881	48,411	—	731,443
セグメント間の内部売上高	629	4,069	1,230	1,810	32,298	△40,038	—
計	220,068	274,239	109,770	86,691	80,710	△40,038	731,443
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	19,327	23,978	8,171	1,907	174	—	53,559

(注) 1. 「その他」には、提携事業、包材事業、物流事業及びその他サービス事業が含まれております。

(注) 2. 報告セグメントの変更に伴う組替影響額を、前第3四半期連結累計期間の数値に反映して表示しております。変更の内容につきましては、「II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日) 3. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

2. 地域に関する情報

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
売上高	334,089	201,399	119,342	76,611	731,443
連結売上高に占める比率	45.7%	27.5%	16.3%	10.5%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当社の連結子会社である味の素ノースアメリカ社が、ウィンザー社の全持分を取得したことにより、「海外食品」セグメントにおいて、のれんが60,266百万円増加しております。

なお、取得原価の配分が完了していないため、のれんの金額は暫定的に算出された金額です。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	日本食品	海外食品	ライフサポ ート	ヘルスケア			
売上高							
外部顧客に対する売上高	301,045	354,680	110,676	95,480	41,364	—	903,248
セグメント間の内部売上高	1,853	4,434	1,936	1,729	41,164	△51,118	—
計	302,899	359,115	112,612	97,209	82,529	△51,118	903,248
セグメント利益又は損失 (営業利益又は損失)	27,521	35,269	10,831	5,834	709	—	80,166

(注) 「その他」には、提携事業、包材事業、物流事業及びその他サービス事業が含まれております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

「日本食品」セグメントの資産の金額が前連結会計年度末に比べて92,609百万円増加しております。これは主として、当社が、米国モンデリーズ・インターナショナル社がその関係会社であるクラフト・フーズ・ホールディングス・シンガポール社を通じて保有するAGFの株式の全部を取得し、第1四半期連結会計期間より同社を当社の連結子会社としたことによる増加であります。

## 3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループの報告セグメントの区分は、前連結会計年度において「国内食品」「海外食品」「バイオ・ファイン」「医薬」としておりましたが、第1四半期連結会計期間より「日本食品」「海外食品」「ライフサポート」「ヘルスケア」に変更することとしました。

これは、2014-2016中期経営計画にて定めた新たな事業ドメインに沿った新組織体制を整備したことに伴うものであります。

主な変更点として、「バイオ・ファイン」を「ライフサポート」と「ヘルスケア」に分割して区分し、「医薬」を「ヘルスケア」に含めております。また、「国内食品」に含めていた冷凍食品を「日本食品」と「海外食品」に分割して含め、「バイオ・ファイン」に含めていた甘味料を「海外食品」に、健康ケア事業を「ヘルスケア」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については変更後の区分方法により作成しており、前第3四半期連結累計期間の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。

## 4. 地域に関する情報

(単位: 百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	合計
売上高	408,627	221,346	191,094	82,179	903,248
連結売上高に占める比率	45.2%	24.5%	21.2%	9.1%	100.0%

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## 5. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## (参考情報)

## 所在地別セグメント情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	連結
外部顧客に対する売上高	348,215	189,821	115,865	77,540	731,443
連結売上高に占める比率	47.6%	26.0%	15.8%	10.6%	100.0%
営業利益又は損失	24,202	22,434	7,705	△783	53,559
連結営業利益に占める比率	45.2%	41.9%	14.4%	△1.5%	100.0%

当第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米州	欧州	連結
外部顧客に対する売上高	423,646	208,743	189,002	81,854	903,248
連結売上高に占める比率	46.9%	23.1%	20.9%	9.1%	100.0%
営業利益又は損失	35,836	30,386	10,961	2,982	80,166
連結営業利益に占める比率	44.7%	37.9%	13.7%	3.7%	100.0%

(注) 1. 国又は地域区分は、地理的近接度により区分しております。

(注) 2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア: 東アジア及び東南アジア諸国

米州: 北米及び中南米諸国

欧州: ヨーロッパ及びアフリカ諸国

## (重要な後発事象)

## 自己株式の消却

当社は、平成28年1月29日開催の取締役会において、以下のとおり、会社法第178条の規定に基づき自己株式の消却を行うことを決議しました。

- (1) 消却する株式の種類 普通株式
- (2) 消却する株式の数 10,708,000株
- (3) 消却予定日 平成28年2月10日

<ご参考> 消却後の発行済株式総数 583,762,654株